

政務調査研究視察 報告書

平成19年10月2日提出

視 察 日	平成19年8月20日（月）														
視 察 先	福岡県 北九州市														
視 察 内 容	福岡国際会議場について														
視 察 者	澤豊 ・ 永田 寛 計 2名														
福 岡 市	<p><福岡国際会議場について></p> <p>福岡市は、人口1,336,666人 面積340.6㎡ の政令指定都市である。市中心部の博多地区は、九州全体の行政・商業・業務・交通の中枢であり、アジアの交通拠点としとしても、多様な取り組みを展開している。</p> <p>福岡国際会議場は、平成15年に財団法人福岡コンベンションセンターにより設立。福岡市では、コンベンションシティ形成を重要施策のひとつとしており、中央ふ頭地区のコンベンション機能強化充実を進めている。</p> <p>そのような背景の中で、全国規模の大会・集会や学術会議、市民レベルの会議、集会等に幅広く対応できる使いやすい会議場をということで設計設立された会議場が国際会議場である。建設費は100億円とのこと。</p>														
	設置目的	福岡市及び周辺の産業、貿易及び文化の振興を図り、もって福岡市の国際経済文化都市としての確立を目指すとともに、住民福祉向上に寄与することを目的とする。													
	施設内容	<table border="0"> <tr> <td>敷地面積</td> <td>10,252㎡</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>7,217㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>22,185㎡</td> </tr> <tr> <td>構造規模</td> <td>鉄筋コンクリート造り、地上5階</td> </tr> <tr> <td>各種構成</td> <td>メインホール、多目的ホール、国際会議室、大中小会議室</td> </tr> <tr> <td>収容人数</td> <td>最大3,000人収容可能で大会議にも対応可能</td> </tr> </table>		敷地面積	10,252㎡	建築面積	7,217㎡	延床面積	22,185㎡	構造規模	鉄筋コンクリート造り、地上5階	各種構成	メインホール、多目的ホール、国際会議室、大中小会議室	収容人数	最大3,000人収容可能で大会議にも対応可能
	敷地面積	10,252㎡													
建築面積	7,217㎡														
延床面積	22,185㎡														
構造規模	鉄筋コンクリート造り、地上5階														
各種構成	メインホール、多目的ホール、国際会議室、大中小会議室														
収容人数	最大3,000人収容可能で大会議にも対応可能														
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国際・国内会議、内外見本市、展示会並びに文化、スポーツ事業などの開催または、開催協力に関する事業。 2) 貿易情報の収集、提供等に関する事業 3) 施設の管理及び運営、運営の受託に関する事業 その他 														
運営手法	<ol style="list-style-type: none"> 1) 財団法人福岡コンベンションセンターが金融機関から建設資金を借り入れ、国際会議場の整備を行う。 2) 建設資金の元利償還にあたっては、福岡市が全額補助する。 3) 福岡市は、財団から国際会議場を無償で借り上げ、条例でこの施設を「公の施設」として位置づける。 														
	<p>〔感想・岡崎市への反映〕</p> <p>福岡市と岡崎市では人口規模はかなりの格差があるが、それでも今回視察をしたような会議場は必要であると感じた。博多駅からすぐ近くに建設されており交通の便も大変よく、会議だけでなく、イベントなどに頻繁に使用されているとのこと。ここまで大きくはなくても、岡崎市にも大きなイベントや各種大会議を行える会場があれば、岡崎市の産業発展はもとより、市民の文化向上にも寄与するのではないかと感じた。</p>														

政務調査研究視察 報告書

平成19年10月2日提出

視 察 日	平成19年8月21日 (火)
視 察 先	福岡県 北九州市
視 察 内 容	シャフトロ式ガス化溶融路のごみ処理施設について
視 察 者	澤 豊 ・ 永 田 寛 計 2 名
北 九 州 市	<p><シャフトロ式ガス化溶融路のごみ処理施設について></p> <p>北九州市は、人口 990,878 人 面積 486.81 m²の政令指定都市である。本州と九州の結節点としての地理的特性を持ち、工業都市として発展を続けている。</p> <p>新門司工場は、環境への配慮、資源の有効利用、エネルギーの活用をテーマにつくられた新しいごみ処理施設である。“21世紀における循環型社会のモデル都市づくりを目指す”という北九州市の大切な役割をになう施設として、本年（平成19年）北九州市の門司区に完成したところである。</p> <p>【設備概要】</p> <p>敷地面積：51,038 m² 建築高さ：43 m（煙突部：85 m） 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨コンクリート造・鉄骨造 階 数：地上7階、地下1階建て 事 業 費：229億円 炉 形 式：シャフトロ式ガス化溶融路 焼却能力：720 t/日（240 t/日×3炉） メーカー：新日鉄エンジニアリング株式会社</p> <p>【特徴】</p> <p>シャフトロ式ガス化溶融路で発生するガスは燃焼室で燃焼し、ボイラで蒸気を取り出し、熱・電力として有効利用される。残渣は溶融路底部で溶融され、溶融物は資源であるスラグとメタルになる。排ガスは一連の排ガス処理プロセスによって無害化される。 無害化処理された、わずかな溶融飛灰は、最終処分場へ搬出されるとのこと。</p> <p>【安全監視体制】</p> <p>溶融路から発生したガスを独立した燃焼室で完全燃焼させ、ダイオキシンの発生を抑制し、燃焼室の後段には、有害ガスやばいじんを排出させないために、ろ過式集じん器を設置。さらに中央監視室で24時間監視・制御している。</p>
	<p>〔感想・岡崎市への反映〕</p> <p>まず施設に入り感じたことは、「まったく臭いがしない」ということであった。通常ごみ処理施設というのは異臭がどうしてもするものだと思うが、今回の新門司工場ではその臭いが全くしない。これは、臭気が外に漏れないように設計をしているからとのことであった。具体的にはピットで発生する空気（臭気）をそのまま燃焼するときを利用しているようである。岡崎市の施設もぜひこのように異臭関係にも配慮すべきではと感じた。</p> <p>また、監視体制も24時間体制で十重二十重に施されており、安全管理も徹底されており岡崎市も見習うべきだと感じた。</p>

政務調査研究視察 報告書

平成19年10月2日提出

視 察 日	平成19年8月22日 (水)
視 察 先	大分県 大分市
視 察 内 容	コンパルホールについて
視 察 者	澤 豊 ・ 永田 寛 計 2名

<コンパルホールについて>

北九州市は、人口 460,849 人 面積 501.13 ㎡の大分県の県庁所在地の中核市である。現在、大分駅前整備や区画整理事業などを中心に市街化の活性化を図っている。

コンパルホールは、大分駅から徒歩 10 分に位置し、子供からお年寄りまで多くの市民が文化活動やスポーツ活動を通じて交流し合える場所として昭和 61 年整備された。

【複合施設となった経緯】

市民から図書館、体育館、婦人の家、勤労青少年ホーム等の施設建設要望があり、これらを一一つ建設する事は、用地や予算の面から困難なことから、これらの施設を一つの建物にまとめて、土地や施設の有効利用を図るとともに、子供から婦人、老人、勤労者まで多くの市民が文化活動やスポーツを通じて交流しあえる場として建設された。

大
分
市

【設備概要】

敷地面積：8,095 ㎡ (延床面積は 23,387 ㎡)

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 2 階、地上 7 階

事 業 費：70 億円 (建設費 52 億・用地費 18 億)

主な施設：文化ホール(500 席)、多目的ホール(400 席)、会議室 大中小 17 室、中央公民館、老人憩いの家、茶室、市民プラザ、市民ギャラリー、市民体育館、天体観測ドーム、市民図書館(39 万冊)、サービスコーナー

※コンパルホールの名称は、市民から広く募集をして 269 点の中から「語彙と語感もよい」ということで選ばれた。コンパルとは「親しい仲間が集い憩うところ」という意味とのことである。

【その他】

利用状況：18 年度 年間 121 万人 (うち図書館 61 万人)

主要事業：教室、講座を年間約 130 回行っている。文化体育各種イベントも実施。

管理機構：市長事務部局 企画部文化国際課コンパルホール係

職員人数：29 名 (正規職員 13 名、嘱託 8 名、臨時 8 名)

〔感想・岡崎市への反映〕

コンパルホールの特徴は、図書館や文化ホール、会議室、市民プラザ、老人憩いの家など本当に多くの施設が入っているということである。建設後年数が経過していることもあり、多少設備が古くなっているが、市民の要望で建設したというだけあって、市民には人気があり多くの来場者があるとのこと。大分駅近くに建設されており、ここに行けば様々な用事も済ませられるし、お年寄りなどは一日過ごすことも出来る。

岡崎市も市民会館が老朽化しているが、今後新たに建設する際にはコンパルホールのように複合的な面も導入すべきと感じた。